WC2150J/JWB70/B70N ヘッドカートリッジのノズル面清掃方法

2003 年 7 月
富士ゼロックス株式会社

クリーニングを行っても印刷のかすれや正しく色が出ない等の現象が改善しない場合は、下記の手順でヘッドカートリッジのノズル面の清掃を行ってください。
注）ヘッドカートリッジのノズルの乾燥を防ぐため、ヘッド面清掃は、30 分以内で終わらせヘッドカートリッジを本体に装着してください。

＜準備するもの＞
1. ケバ立ちの少ないガーゼや綿等の清潔な布 2 枚、および作業場所に敷くビニールシート
2. インクカートリッジを付けたヘッドカートリッジ
3. ぬるま湯（40℃～50℃程度：やけどにご注意ください）

＜清掃手順＞
1. 机などの台の上に、ビニールシート等をあらかじめ敷いてください。その上に 1 枚目の布を 2 重に折りたたんで置き、布にぬるま湯を充分に湿らせます。（持ち上げても水分が落ちない程度）

2. ヘッドカートリッジのノズル面を下に向けて布に押し付け、図 1 のように矢印の方向の 1 方向に 5㎝ 程度「ずらし」ながらノズル面の清掃を行ないます。（「ずらす」方向にご注意ください）
布に 3 色の帯が付くまで、布に押さえつける場所を変えて「ずらし」ながらノズル面の清掃を行ないます。（合計 2 回）（図 2）。布に 3 色の帯が付かない場合、ノズルのつまりが直っていない可能性がありますが、以下の手順をお試しください。

図 1（清掃 1 回目）

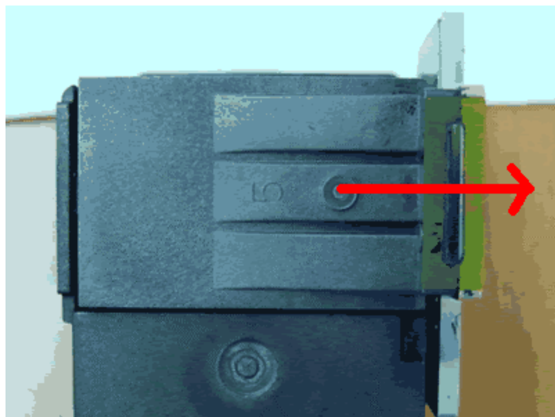


図 2（清掃 2 回目）



3．2枚目の乾いた布でノズル面に残った水分を一定方向（図3）に軽く拭きます。
ゴミや固まりがあった場合は、清掃手順の2をもう一度行います。

図3（ヘッドカートリッジのノズル面）



4．ヘッドカートリッジを本体に装着しクリーニングを行ないます。

＜WorkCentre2150Jの場合＞
本体操作パネルの＜メニュー＞ボタンより、「3 メンテナンス」 → 「1 ヘッド 1 クリーニング」を選択します。（取扱説明書137ページ参照）

＜Jet Wind B70/B70Nの場合＞
パソコンで Jet Wind B70/B70N のステータスモニターを起動して、「クリーニング」を選択します。（取扱説明書159ページ参照）

5．テストプリントで印刷結果が正常かどうか確認します。

＜WorkCentre2150Jの場合＞
本体操作パネルの＜メニュー＞ボタンより、「3 メンテナンス」 → 「5 テストプリントノシュツリョク」を選択します。（取扱説明書141ページ参照）

＜Jet Wind B70/B70Nの場合＞
パソコンで Jet Wind B70/B70N のステータスモニターを起動して、「テストプリント」を選択します。（取扱説明書164ページ参照）

以上の作業を行なっても印刷結果が正常に戻らない場合、いくつかの原因が考えられますので弊社カストマーコールセンター（0120-78-2209）にご連絡ください。

以上